

かつしかの きょういく

第159号

令和8年(2026年)1月31日発行

編集／教育総務課

発行／葛飾区教育委員会

〒124-8555 立石5-13-1

☎03-3695-1111(代表)



区ホームページ



みんなの得意分野を伸ばそう! かつしかチャレンジプログラム



区立小・中学校の児童・生徒を対象に、能力をさらに向上させるための事業「かつしかチャレンジプログラム」を実施しています。令和7年度は「English challengeコース」「プログラミングコース」「自然科学コース」「理数分野コース」を開設しました。

English challengeコース

外国人講師を招へいし、英語によるコミュニケーション能力向上や、英語検定(英検)合格を目指しました。

英検1次・2次試験対策講座として、テキストを使用した学習や外国人講師とのやりとりを通して、英語の学びを深めました。



プログラミングコース

小学生は6年生を対象に、5年生で学んだロボット型のプログラミング教材を活用し、試行錯誤しながら作品を制作しました。

中学生は、身の回りの問題を発見し解決することをテーマに、Webサイトの成り立ちやテキストコーディング*を学びながら、Webサイトを作りました。

*プログラミング言語を使用して、プログラムを記述すること



自然科学コース

小学生は「水中の微生物の観察」や「イカの解剖」など、身近にあるものについて観察・実験を行い、理科や科学への興味・関心を高めました。

中学生は「研究組」と「実験組」に分かれて実施しました。

研究組は「土壤の微生物発電」や「渦の研究」をテーマに、粘り強く探究を繰り返し、結論を導き出しました。

実験組は「単極モーターの製作」や「半導体部品で実演する光通信」等をテーマに、高度な科学実験に取り組みました。



令和7年度新設 理数分野コース

学校で学んだ理数分野の学習を応用して、数式や物理の原理等を活用した探究活動を行いました。

小学生は「電気」をテーマに、自分や家族など、身近な人の役に立つLEDランプを作りました。

中学生は力学の原理を生かした「橋」の構造を知り、生活に役立つ働きやデザインを考え、模型を作成しました。



いずれのコースも、令和8年度も開設予定です。参加方法など詳しくは学校を通してお知らせします。

特集

教育委員会ってどんなところ?

詳しくは、4・5ページへ



令和7年度 感謝状を贈呈しました



地域教育課 ☎ 03-5654-8589
放課後支援課 ☎ 03-5654-8483

区立学校の運営、教育活動に積極的な支援を行い、その功労が顕著である団体及び個人と放課後子ども事業功労者に対し、11月19日、感謝状を贈呈しました。贈呈された方は次のとおりです(敬称略)。

学校支援団体

【学校教育支援活動】

葛飾小学校図書ボランティア おはなしとんとん
ライブラリーみなみ(南綾瀬小学校)

奥戸小学校おはなし会

道上小学校学校地域応援団

青戸小PTA・OB会

東綾瀬小学校図書ボランティア おはなしたんぽぽ
おはなしわくわくの会(東柴又小学校)

細田小読み聞かせ・学習センターボランティア

【学校環境整備活動】

上平井小学校学習センター装飾ボランティア
常盤中学校学校地域応援団



東金町中学校学校地域応援団

【学校安全支援活動】

綾瀬中学校区域 子ども見守り隊(こすげ小学校)

学校支援個人

【学校環境整備活動】

武田 美沙子(上千葉小学校)

和泉 京子(南奥戸小学校)

廣瀬 素恵(亀有中学校)

【学校安全支援活動】

小高 英雄(堀切小学校)

秋元 幸夫(飯塚小学校)

田中 智恵子(よつぎ小学校)

放課後子ども事業功労者

秋元 安男(北野小学校)



葛飾みらい 科学研究コンクール

小学校

▼教育長賞

内山 凜哉(北野小6年)「食べられない部分は紙ヘルサイクル」
△ 令和7年度東京都小学生科学展で優秀賞を受賞しました。△

▼東京理科大学学長賞

鳥居 みさき(住吉小3年)「風と氷」

▼入賞

門田 拓士(上千葉小6年)「地震に強い建物について」
玉野 志帆(新宿小4年)
「水の変化によるかいわれスプラウトの成長実験」
善養寺 莉子(道上小5年)
「亀有セミ調査 2025~鳴き声と抜け殻から探るセミたちの生態~」
太田 慶雨(道上小1年)
「自分で聞く自分の声と撮影された自分の声はなぜ違うのか」
高橋 紗子(北野小3年)「ホットケーキ大研究」
井海田 知美(西小菅小5年)「爪の研究」
今野 日葵(南奥戸小3年)「ぼくのアイスもう溶かさせません!」
細田 雅尊(西亀有小4年)「ダンゴムシ研究II」

中学校

▼教育長賞

堺 心琴(常盤中2年)
「鶏もも肉を一番柔らかくする液体を調べた」

▼東京理科大学学長賞

山口 珠生(常盤中1年)
「セミの鳴き方に及ぼす気象条件の影響について」

▼入賞

喜多 桐子(綾瀬中2年)
「衣服のシミを落とす力の比較」
壇 くらら(常盤中2年)「死海について」
宮崎 優芽(東金町中2年)
「唾液と同じ、デンプンを分解する働きのある食材」

応募数: 小学校 90点、中学校 24点

教育指導課 ☎ 03-5654-8471



葛飾区読書感想文コンクールを実施しました

教育指導課 ☎ 03-5654-8573

小学生12,142点、中学生3,968点の応募があり、小学生18人、中学生10人が入賞しました。受賞者は次のとおりです。
(※敬称略。同種の賞の受賞者は学年、学校番号順)



小学校低学年の部

最優秀賞

菊地原 凜(東金町小2年)

優秀賞

太田 慶雨(道上小1年)

須貝 叡智(上千葉小2年)

佳作

梶田 彩乃(葛飾小1年)

久保野 朱音(住吉小1年)

伊藤 碧香(川端小2年)

小学校中学年の部

最優秀賞

山田 真央(葛飾小3年)

優秀賞

渡邊 智匡(上小松小3年)

須貝 音々(上千葉小4年)

佳作

柳澤 健吾(二上小3年)

磯 菜乃果(柴又小4年)

森下 喜貴(松上小4年)

小学校高学年の部

最優秀賞

高橋 暖(梅田小6年)

優秀賞

柳澤 茉里(二上小5年)

下田 愛華(白鳥小6年)

佳作

吉野 帆夏(道上小5年)

関 知佳(金町小5年)

依田 仁湖(東四つ木小6年)

中学校の部

最優秀賞

星 里音(桜道中3年)

優秀賞

寺田 優奈(上平井中2年)

長崎 光華(新小岩中2年)

片山 葵陽(水元中3年)

渡邊 彩心(新小岩中3年)

佳作

片山 朝陽(水元中1年)

岡 珠希(小松中1年)

御田 佳那(常盤中1年)

徳永 留嘉奈(高砂中1年)

田島 里桜(新宿中2年)

東京都小学校読書感想文コンクールにおいて、上千葉小学校 須貝戻智さん、二上小学校 柳澤健吾さん、柳澤茉里さん、白鳥小学校 下田愛華さん、東四つ木小学校 依田仁湖さんが、特選を受賞し、道上小学校 太田慈雨さんが入選しました。

特選を受賞した5名の中から、須貝戻智さん、下田愛華さんは都代表として青少年読書感想文全国コンクールに選出されました。

また、東京都中学校読書感想文コンクールにおいて、桜道中学校 星里音さんが都優秀賞を受賞しました。



限りある今を

桜道中学校 三年 星 里音

書名 「その日の前に」
著者 「重松 清」

この本を読もうと思ったきっかけは祖父だ。

祖父は難病で、肺がもう動かず、酸素濃縮装置をつけて何とか生活している。お盆休みに会ったとき、元気だった頃の姿と酸素濃縮装置をつけた姿の違いに私は戸惑ってしまった。気丈だった祖父が吐いた弱音に祖母は悲しそうな顔をしていた。祖父のいないところで祖母は涙を流していた。

私は祖父と祖母にどんな言葉をかけられば良いのかわからなかった。自分の無力さを痛感した。自分にできることは何なのか、ずっと思考を巡らせていました。そんな時にこの本と出会ったのだ。

この本は短編小説集で、七編の話が収められている。最後の三話は一つの家族の物語として繋がっている。この物語は、がんで亡くなる妻とその夫・二人の息子を中心に入れぞれの人物視点で「死」や「別れ」に向き合う姿が描かれている。

しかし、全ての話に共通していることは、「その日」大切な人の別れの日」が迫る中で、人はどのように生き、どのように「その日」に向き合つか、ということだと思う。特に心に残っているのは、夫が妻の病を知り、余命宣告を受けた場面だ。突然の知らせに困惑しながらも、何とか明るくふるまおうとする夫。その姿からは、本当は辛いけれど辛さは決して見せないという愛が伝わってきてとても切なかつた。また、妻の、

自分自身が「逝ってしまう側」であり、家族と離れてしまう寂しさや、残される家族のことを気にかける優しさが伝わってきた。この言葉に感銘を受けた。「日常というのは強いものだと、妻が病気になつてから知った。毎日の暮らしといつのは、悲しさや悔しさを通り越して、呆れてしまふほどのものなのだ。」この言葉は、夫が自分自身に語りかけている場面でのものだ。

余命宣告を受けて改めて実感した「日常の強さ」や「当たり前のありがたさ」について考えさせると共に、「その前の日々を大事に生きる」と示唆していた。人はいつか必ず死を迎える。家族、友人、そして自分自身も死を避けることはできない。でも、「その日」が来るまでをどう過ごすかは自分次第で変えることができる。そこが大事なのだと思う。

自分にとって大切な人が、だんだんと弱っていく姿と向き合つていくこと。それはとても辛く悲しいことだ。ただ、そのことを「辛い」「悲しい」で済ませてしまつてはいけない。大切な人と今まで過ごした時間は自分にとってかけがえのない宝物になつているはずである。そうであれば、その宝物に感謝し、その不安が少しでも楽になるように寄り添つてあげなければいけない。

大切な人の「その日」は前触れなく突然訪れることがある。その時、私はきっと激しい後悔を感じるのだろう。もっと優しく接すれば良かった。一言でも感謝を伝えておけば良かった。その人の時間を持つ大切にすれば良かった。

もし、母に「その日」が訪れたら、私は何と思うのだろう。私は母に反抗的な態度をとることがある。忙しい中でも自分に自己をとることがある。けれど、私たちの母と過ごしている何気ない毎日が実はとてもかけがえのないものだと気づかされた。

そのためには、周囲に対して、自分がするべきことを果たしたという気持ちを持つことが必要だろう。だから毎日を精一杯生き、人との関わりを大事にしなければならないのではないか。

この本は「死」を正面から問題にしている。「死」をただ悲しいものとするのではなく、「生」と向き合うものとして積極的に捉えているのではないかと感じた。なぜなら、この本には悲しみだけでなく、一つ一つの言葉の奥に「あなたを思つている」という一貫した優しさがあり、また、大切な人がいなくなつても、世界は美しく続していくのだといつも希望に溢れていたからだ。読んだ後も、心が温かくなり、自分の大切な人達の顔を思い浮かべたくなる、そんな一冊だった。

「その日」は、誰の人生にも必ずやつくる。けれど、私たちのそれを忘がちだ。

でも、これから私はこの本で学んだ「その日より前を大切に生きる」という考え方、周りへの感謝を忘れずに、一瞬一瞬を大切に日々、生きていく。

(原文ママ)



教育委員会ってどんなところ?



教育委員会という名前はよく聞くけれど、詳しく知らない方も多いと思います。
今号では、教育委員会と教育委員会事務局の違いなど、教育委員会がどんなところで何をしているのかをご紹介します。

教育総務課 ☎ 03-5654-8449



教育委員会ってなに?

教育委員会は、区長から独立した行政委員会として、合議制の執行機関として設置されています。
葛飾区教育委員会は、教育長と5名の委員によって組織されており、全員が区議会の同意を得て、区長が任命しています。



▲下段左から、久保教育長職務代理者、
市川教育長、壺内委員
上段左から、井口委員、谷部委員、田中委員

職名	氏名	任期
教育長	市川 茂	令和7年10月5日～令和10年10月4日
教育長職務代理者	久保 洋子	令和6年12月24日～令和10年12月23日
委員	壺内 明	令和7年10月2日～令和11年10月1日
委員	谷部 憲子	令和4年12月23日～令和8年12月22日
委員	井口 信二	令和5年12月22日～令和9年12月21日
委員	田中 健	令和6年4月1日～令和10年3月31日



▲教育委員会室



どんなことを決めているの?

教育委員会では、教育に関する様々なことを決めています。
例えば、学校、入学、教職員、教科書のことやスポーツなど多岐にわたります。



いつ開催しているの?

教育委員会は、毎月1回の定例会と必要に応じて臨時会を開催しています。
開催日のおおむね2日前(土・日曜日、祝日を除く)に、区公式ホームページに次回の議題などを掲載します。傍聴も可能で、事前の申込みは不要です。詳しくは区公式ホームページをご覧ください。



最近はどんなことを話し合ったの?

【提出議案】

39件(うち可決された議案39件)

【主な可決議案】

- ・葛飾区教育委員会事務局文書取扱規程
- ・葛飾区体育施設の指定管理者の指定に関する意見聴取
- ・葛飾区立学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則

【報告事項】

40件

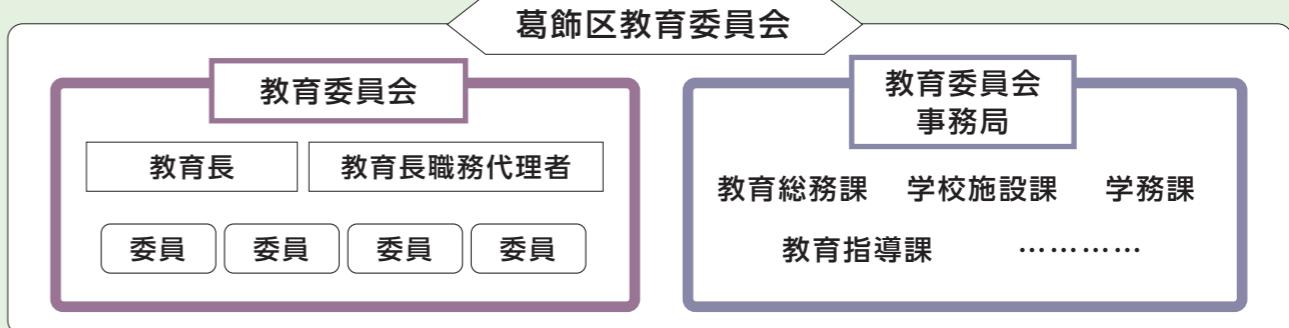
【主な報告事項】

- ・令和7年度全国学力・学習状況調査の実施結果について
- ・令和7年度夏季休業中の児童・生徒の活動状況について
- ・令和8年度「葛飾教育の日」の実施について



教育委員会事務局ってなに?

教育委員会事務局は、教育委員会の権限に属する事務を処理するために置かれています。
例えば、学校施設課は学校施設の管理や改修などに関する仕事、学務課は学校給食などに関する仕事、教育指導課は学校での指導内容や指導方法などに関する仕事をしています。
詳しくは区公式ホームページをご覧ください。



新教育長に
インタビュー!



市川教育長は令和7年10月5日に就任しました。
今回は教育長に今後の方針などをインタビューしました。

● 就任してから約2か月、どのような日々でしたか?

新しい仕事に慣れるのに必死で、あつという間に2か月が過ぎました。とても充実した毎日で、学校に出向いて子どもたちの姿を見るのが一番の楽しみになっています。また、地域のイベントで、様々な方々と出会ったり、話をしたりするのも楽しいです。

● 学校訪問される機会が多いと思います。かつしかっ子の印象はいかがですか?

教員として葛飾区に勤務していたのが二十数年前のですが、当時とあまり変わっていない印象です。とても純粋で素直な反応を示す子どもが多いように思います。全体的には、やや大人しくなった感じもしています。

● 教育長として、今後の取組方針などについて教えてください。

学校を支えるのが教育委員会の大きな役割だと思います。それぞれの学校での教育活動がよりよくなるよう、全力でサポートしていきたいと思います。

また、子どもたち一人一人に必要な力が身に付けられるよう、様々な取組を進めていきたいと思います。

● 小さい頃はどのようなお子さんでしたか?

朝から夕方まで遊んでばかりで家庭学習は最低限しかやらない子どもでした。その一方、負けず嫌いだったので、授業では友達に負けないよう、いつも全力で取り組んでいました。

また、目立つのが大好きで、学級委員や児童会役員などを進んで引き受けっていました。

● 得意・苦手な科目は何でしたか?

小学生の頃は、苦手な教科はなく、全般的に得意でした。特に得意だったのは、図工や音楽、家庭、体育など実技系の教科でした。

中学生になってからは、国語が嫌いになりました。成績はよかったですですが、担当の先生と考え方が合わなかったので、日々の授業が辛かったです。

● お休みの日は何をして過ごされていますか?

出掛けるのが好きなので、基本的に家にはいません。温泉に行ったり、鉄道沿線を歩いたりすることが多いです。また、学生のときから音楽(ドラム)を演奏しているので、スタジオに入って一人で練習したり、バンドの仲間と練習したりすることも多いです。ここ数年は、自宅で植物栽培にも取り組んでいます。

● 最後にかつしかっ子にメッセージをお願いします!

毎日の勉強や運動はもちろんのこと、様々な活動に積極的に取り組み、力を伸ばしていってほしいと思います。また、葛飾区の良さである「義理と人情」も、ぜひ引き継いでいってもらいたいです。葛飾区で育った子どもたち一人一人が将来それぞれの道で活躍することを期待しています。

※インタビューは12月に実施しました。

「葛飾区少年の主張大会」を開催しました



11月15日、かつしかシンフォニーヒルズにおいて応募総数352名の中から選ばれた小学生19名(欠席者2名を含む)、中学生8名、計27名がそれぞれの主張を発表しました。結果は次のとおりです。

地域教育課 ☎ 03-5654-8482



※司会は令和6年度中学生の部最優秀賞のジャッド ジェシカさん

小学生の部

最優秀賞

岡田 知紗(半田小6年)
「ユニークフェイスだからこそ伝えたい」
白井 波琉(亀青小6年)
「僕より小さいお姉ちゃん」

優秀賞

蜂谷 恵(奥戸小6年)
「障害者と共に存できる社会へ」
中澤 仁那(飯塚小6年)
「だれもが安心できる公園にするために」
佐藤 風(堀切小6年)
「考えることをやめないで」
岡田 愛莉(よつぎ小6年)
「いじめ駄目、絶対!!をモットーに私が思うこと」
津加 陽花(上平井小6年)
「100年後もおいしいお米を食べられるように」

優良賞

小林 青葉(小松南小6年)
岩崎 梨里(細田小6年)
小沼 幸音(柴原小6年)
平山 由依(金町小6年)
芝田 晴佳(花の木小6年)
若林 亜莉粋(清和小6年)
大野 ひかり(本田小6年)
品田 篤志(東四つ木小6年)
道家 希映(東綾瀬小6年)
白戸 恵佳(白鳥小6年)
井上 遥人(中青戸小6年)
HANA AILA NAUFALYN
(東柴又小6年)

中学生の部

最優秀賞

高橋 栄凪(葛美中3年)
「待っているもの」

優秀賞

蜂谷 凜紗(奥戸中3年)
「とある偉人の話」

谷本 未来(新宿中3年)
「想いは国境を越えて」

優良賞

藤井 杏奈(新小岩中3年)
大野 未徳(青葉中2年)
鞠子 紗陽(亀有中2年)
安田 繼里(四ツ木中3年)
根本 莉奈(中川中3年)

(敬称略・同一賞内の順番はプログラム番号順)

中学生の部・最優秀賞

「待っているもの」

葛美中学校 3年 高橋 栄凪

勉強、部活、日常の中で感じる「できな」「苦手」それは、誰もが一度は向き合うものです。そして、「できないこと」を克服するためには、たくさんの努力や向き合う勇氣が必要です。では、その努力した先に、頑張った先に、私たちには何が待っているのでしょうか。

私には生まれつき喋れない文字がありました。大袈裟に聞こえるかもしれません。これは良くある話です。私は生まれつき「かきくけこ」が言えませんでした。名前に力行が入っている友達の名前を呼ぶ時も言葉がつまってしまい、うまく呼ぶことができず、それをきっかけにからかわれたり、「ふざけているの?」と馬鹿にされたりすることもありました。最初はただ恥ずかしいだけでしたが、いつの間にか「話すこと」そのものが怖くなってしまい、人と話すことが苦手になってきました。そんな私に声をかけてくれた

のが、当時の担任の先生でした。私の様子に気づいてくれた先生は「言葉の教室」という場所を紹介してくれました。「通ってみたい!」と思ったけれど、最初はとても不安でした。知らない場所で自分の苦手なことに向き合うのは勇気がいるからです。そんな私に先生は、「絶対に大丈夫だよ。頑張った先にはきっと素敵なことがたくさん待っているからね!」と優しく背中を押してくれたのです。先生の言葉を信じて私は通うことを決めました。言葉の教室では、担当の先生が毎日丁寧に発音を教えてくれて、少しずつですが自分でも変化を感じるようになりました。何度も練習を重ねるうちに話すことが楽しくなっていき、半年ほど経つ頃には、「かきくけこ」もはっきりと言えるようになっていました。

友達の名前を気軽に呼べて、好きな時に好きなことを話せて、みんなには当たり前のことも私にとってはとっても幸せなことでした。今では人と話すことに不安を感じることもなくなり、自信を持って人と喋れるようになりました。そして今、こうして皆さんの前でお話がで

きているのも、あの時自分の苦手なことに向き合う努力ができたからです。あの一步がなければきっと今私はここに立っていない。私達の周りで起こっていること全ては、日々の小さな努力の積み重ねの先にあった「待っていたもの」だと、私は思います。

友達とうまくいかない時、自分だけができるないと感じてしまう時、辛くて、悲しくて、どうしようもない時もあるでしょう。「何で自分だけ」「どうして私は」と、周りと比べて落ち込んでしまうこともあるでしょう。でも、私達の「これから」には、まだ見ぬ素敵なことがたくさん待っています。今、辛いことがある人、悲しいことがある人も必ず未来にはあなたを待っている「幸せ」があります。だからどんな時でも自分の弱い気持ちに負けないでください!諦めないでください!そうすれば、あなたを待っているものは、今よりもっと大きく、今よりもっと素敵なものになっていきます。努力した先に、頑張った先に、私たちには何が待っているのでしょうか。私は今では想像できないくらいとっても大きな幸せが待っていると信じています。

小学校連合陸上競技大会

9月29日・30日に奥戸総合スポーツセンター陸上競技場で実施し、区立小学校及び保田しおさい学校の6年生が参加しました。

男女100m、男女50mハードル、男女走り幅跳び、男女4×100mリレーの8種目において、児童一人一人が自己ベスト記録を目指して頑張りました。



中学校連合陸上競技大会

教育指導課 ☎ 03-5654-8471

10月9日に奥戸総合スポーツセンター陸上競技場で実施し、区立中学生776名が参加しました。

- 男子優勝 … 立石中学校
- 総合優勝 … 立石中学校
- 女子優勝 … 立石中学校

大会新記録
(敬称略)

- 女子1・2年走幅跳 立石中 若林 茜李 5m04
- 男子2年1500m 双葉中 安達 飛和 4分12秒20



葛飾区フリースクール等利用者支援事業助成金受付中



区内在住の小・中学生の保護者で、東京都が実施する「東京都フリースクール等利用者支援事業助成金」の支給を受けている方に、区独自に追加で助成金を支給しています。

【補助上限額】 小・中学生1人当たり1万円／月

保護者が負担したフリースクールなどの利用料から都の助成金を差し引いた額が、月1万円未満の場合は、その金額が上限となります。

【締め切り】 3月31日(火)

【申請方法】 申請書に必要書類を添えて教育総務課窓口(区役所4階427番)に持参か郵送。

教育総務課 ☎ 03-5654-8447



必要書類など、詳しくは区公式ホームページをご覧になるかお問い合わせください。

子ども区議会

12月25日、子ども区議会を開催しました。

子ども区議会は、次代を担う小・中学生が議会の仕組みを理解し、区政への関心を深めることを趣旨として、平成9年から開催しています。

今年度は、小学生21名、中学生6名が、子ども議員として参加し、夏休みの事前学習会から準備を重ねてきました。

議長に任命された、花の木小学校 内山 純香さんが開会宣言を行い、本会議の最後には、子ども区議會議員提出議案「『区民一人一人の思いを大切にする、安全安心な葛飾区』にするための決議」が、原案のとおり全会一致で可決されました。

子ども議員名簿

島田 花凜(南綾瀬小)	滝川 凜(中之台小)	桐山 愛莉(よつぎ小)
佐藤 風(堀切小)	和氣 武琉(川端小)	村上 智優(金町中)
田中 優希(奥戸小)	加奈森 和泉(北野小)	坂崎 紅羽(新宿中)
佐野 琴音(奥戸小)	黒澤 有匡(白鳥小)	横山 夢来(新宿中)
出口 聰馬(上平井小)	中尾 理帆(柴原小)	森 晴希(中川中)
酒主 琉優音(金町小)	小沼 幸音(柴原小)	日下部 凜大朗 (慶應義塾中等部)
大山 智郷(こすげ小)	西谷 美里(原田小)	神成 優希 (東邦大学付属東邦中)
泉 汐里(青戸小)	榎 美咲(西亀有小)	
北村 藍梨(青戸小)	内山 純香(花の木小)	教育指導課
古久保 孝健(青戸小)	小林 璃愛(幸田小)	☎ 03-5654-8471

一人で悩まないで、相談してね

かつしかいじめほっとライン



いじめ電話相談

☎ 03-5654-6837



月～金曜日(祝日・年末年始を除く)／午前9時～午後5時

夜間・休日の相談はこちら

教育相談一般・

東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120-53-8288 (24時間対応)

LINE やメールでも相談できます

二次元コードを読み取って相談してください。



※各学校に相談することもできます。

教育指導課



連合音楽会を開催しました

教育指導課 ☎ 03-5654-8471

葛飾区立小学校連合音楽会

【日程】 11月13日 **【会場】** かつしかシンフォニーヒルズ
【参加校】 区立小学校16校

参加した児童たちは、自分の思いや感情を音に乗せて一生懸命取り組みました。また、他校の演奏を鑑賞する楽しさと喜びも味わっていました。



葛飾区立中学校連合音楽会

【日程】 10月30日・31日 **【会場】** かつしかシンフォニーヒルズ
【参加校】 区立中学校24校

総出演者数は、855名で、学年合唱、有志合唱、吹奏楽、オーケストラの発表がありました。

参加した生徒たちは、共に練習を積み重ねてきた仲間と心を一つにして、すてきな演奏を行いました。



葛飾区立中学校英語スピーチ&プレイコンテスト

10月20日に、葛飾区立中学校英語スピーチ&プレイコンテストを開催しました。

教育指導課 ☎ 03-5654-8471

スピーチの部(出場:24名) ※敬称略。奨励賞はスピーチ順に記載

優勝	亀有中	3年	小城 蒼空	You Can Rely on Anyone.
準優勝	新小岩中	3年	高木 唯愛	The Justice Cape ~ My Hero ~
第3位	小松中	3年	石井 純梨	Re-challenge
奨励賞	新宿中	3年	谷本 未来	Heartwarming Handwritten Letters
奨励賞	葛美中	3年	富田 真央	The Power of Music
奨励賞	四ツ木中	3年	岡戸 走太郎	The Band That Changed me and the world

レシテイション(英文暗唱)の部(出場:4名) ※敬称略。スピーチ順に記載

奨励賞	本田中	2年	光山 奈々花	City Lights
奨励賞	大道中	3年	林 皇太朗	Ichiro's Speech in 2019
奨励賞	小松中	3年	上原 夕芽	Swimmy
奨励賞	新小岩中	2年	岡安 瑠海	The Altamira Cave

THE 40th KATSUSHIKA JUNIOR HIGH SCHOOL ENGLISH SPEECH & PLAY CONTEST 2025



連合学芸会を開催しました

教育指導課 ☎ 03-5654-8471

11月7日に、かめありリリオホールで連合学芸会を開催しました。区立中学校から7団体の生徒が参加し、仲間と共に話し合い、協力しながら練習を重ね、よりよいものを作り上げました。

当時は、大舞台で今までの取組の成果を十分発揮し、素晴らしい発表を多くの人に届けることができました。

学校	出演団体名	演目	団体賞等
小松中学校	パフォーマンス部	The Performance	グッドパフォーマンス賞
東金町中学校	演劇部	ラッキールーム	好演賞
堀切中学校	演劇部	ロミオとジュリエット ー目指すは、ありあたりなハッピーエンド!ー	好演賞
青戸中学校	特別支援学級	西遊記~麝香猫の呪い~	優秀賞
亀有中学校	演劇部	教科書ブルース	優秀賞 都大会出場
青戸中学校	演劇部	夢から醒めない夢を見よ	奨励賞
金町中学校	アナウンス部	チルドレン~消えないマッチの向こう側~	優秀賞

「かつしかのきょういく」は年3回発行です。
皆様でご覧ください。

この広報誌は、印刷用の
紙にリサイクルできます。